

# 益田市の集落対策の取組

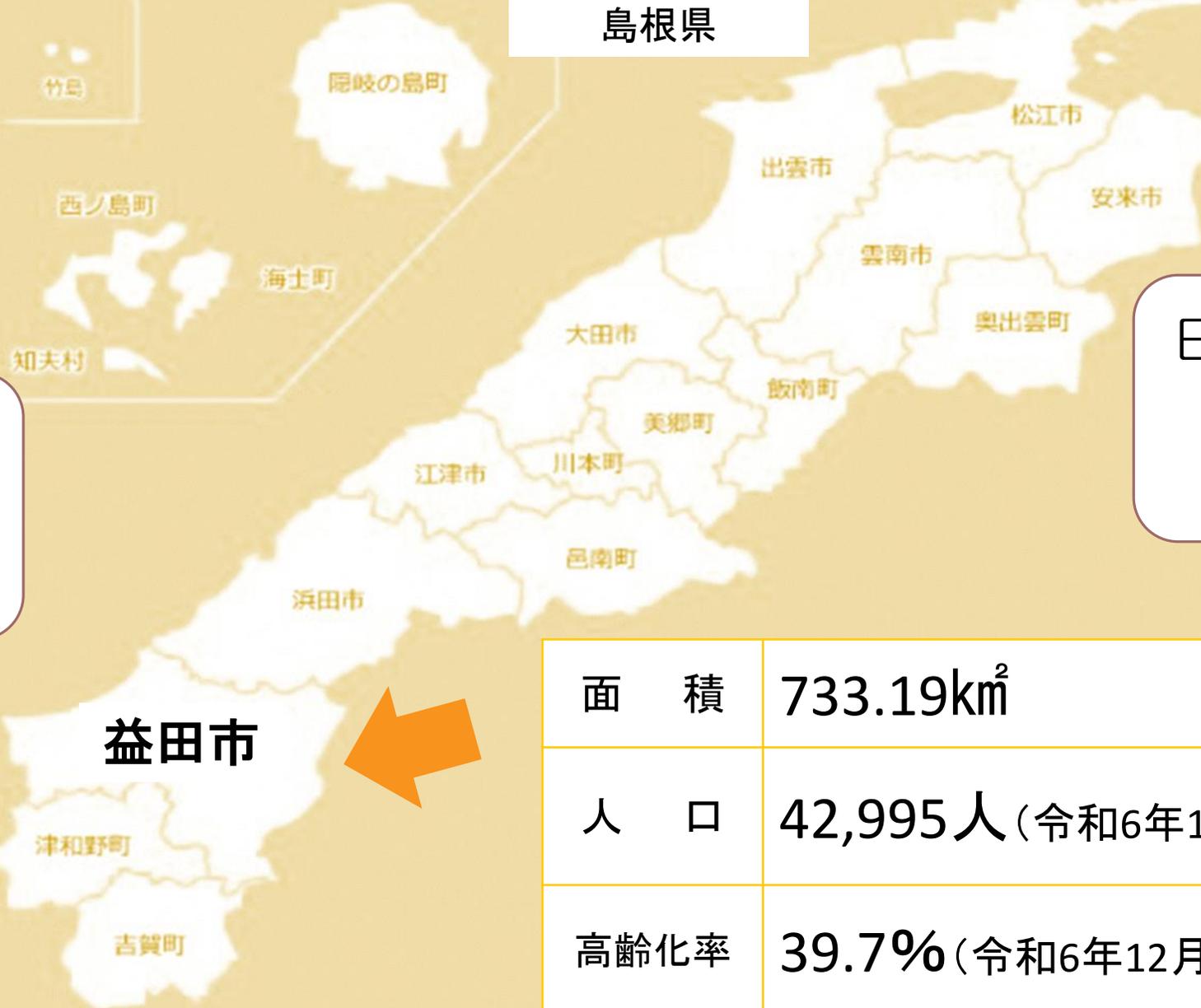
令和7年3月4日  
集落支援員研修資料

島根県益田市  
政策企画局連携のまちづくり推進課

# 益田市について

---

# 島根県



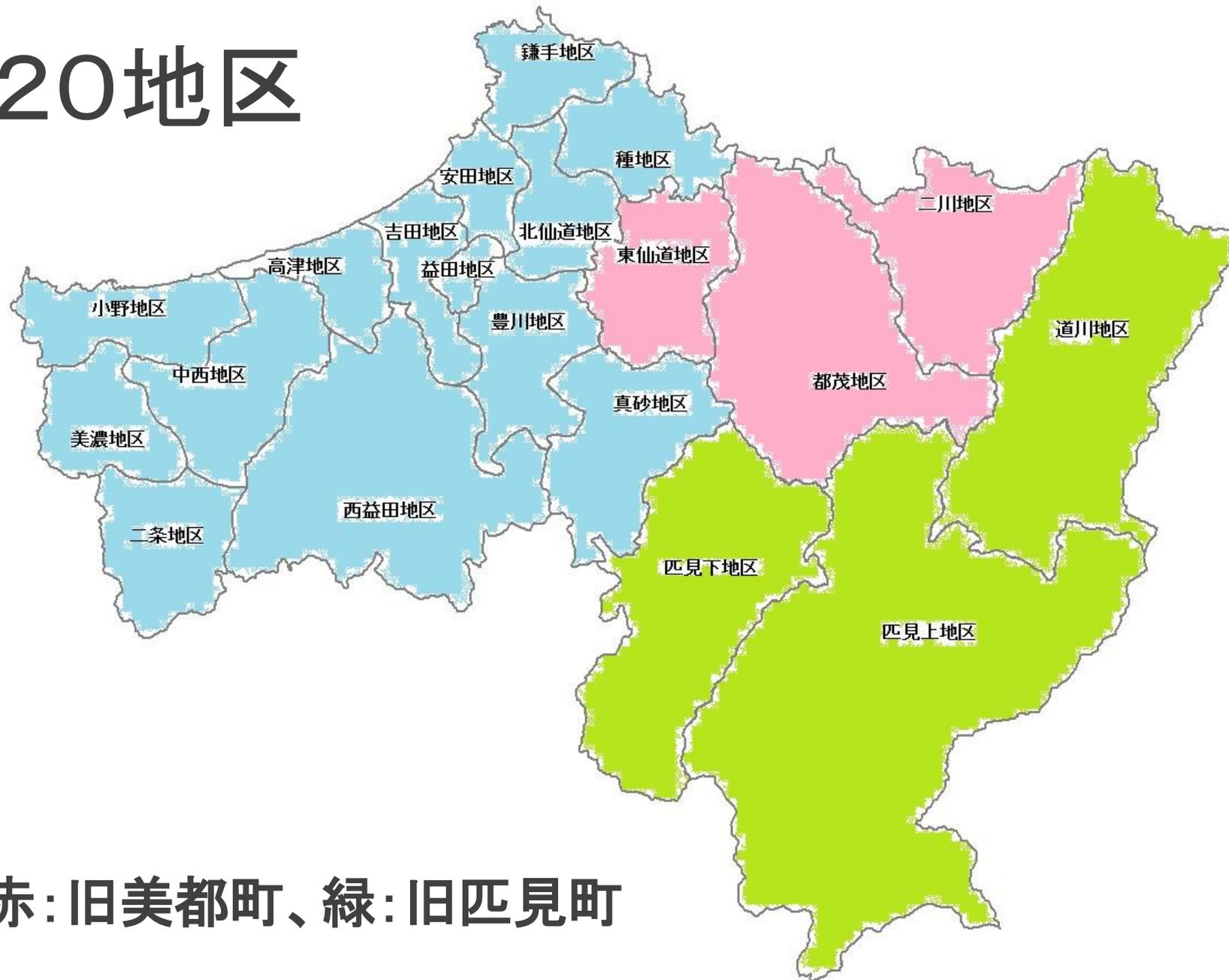
日本の高齢化率は  
29.3%だよ！  
(令和6年9月15日時点)  
過去最高

益田市は  
県の総面積の  
約1割を占めるよ



面積	733.19km <sup>2</sup>
人口	42,995人(令和6年12月末現在)
高齢化率	39.7%(令和6年12月末現在)

# 益田市 20地区



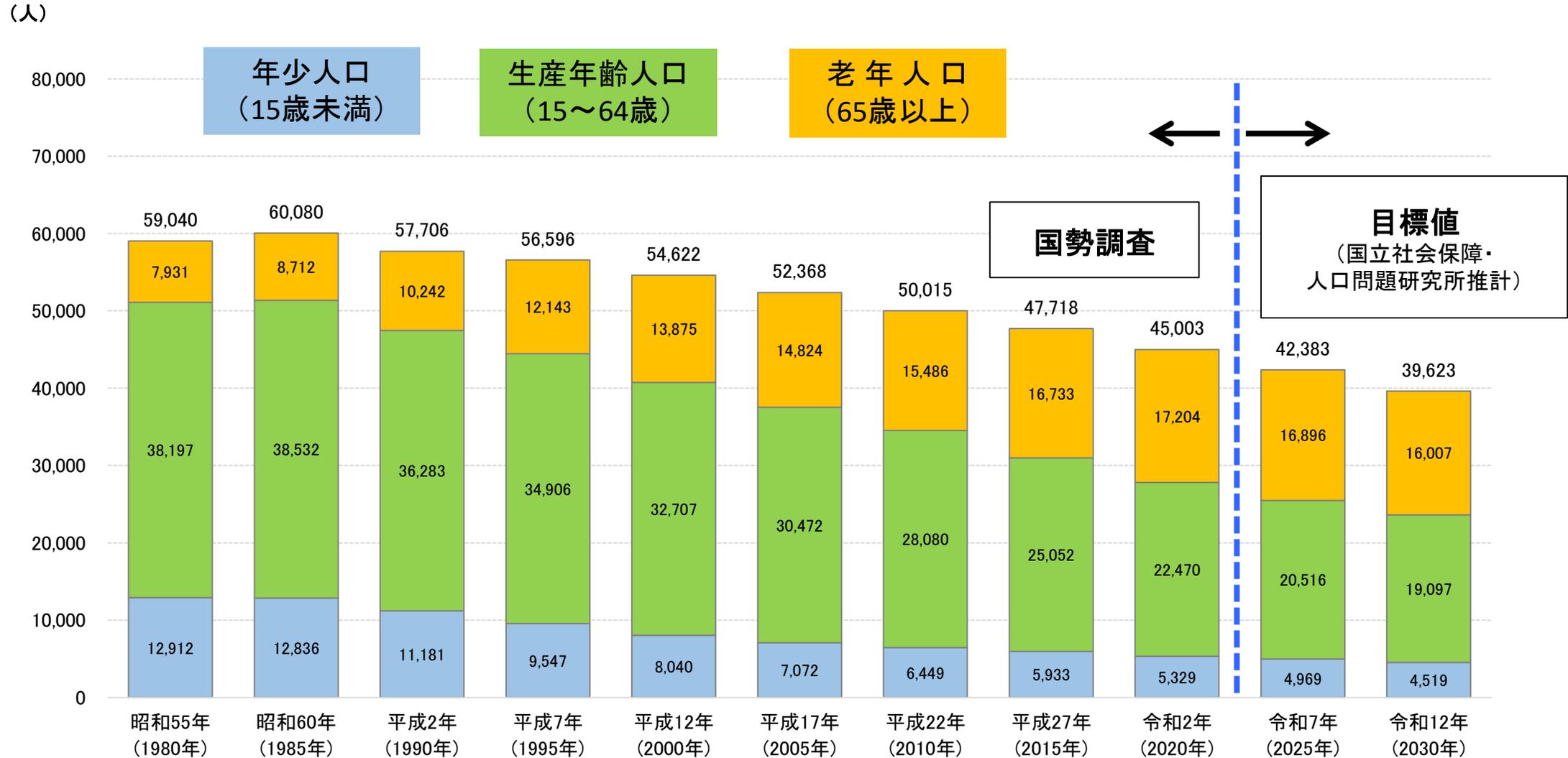
青:旧益田市、赤:旧美都町、緑:旧匹見町

# 益田市 20地区



市全体が中山間地域

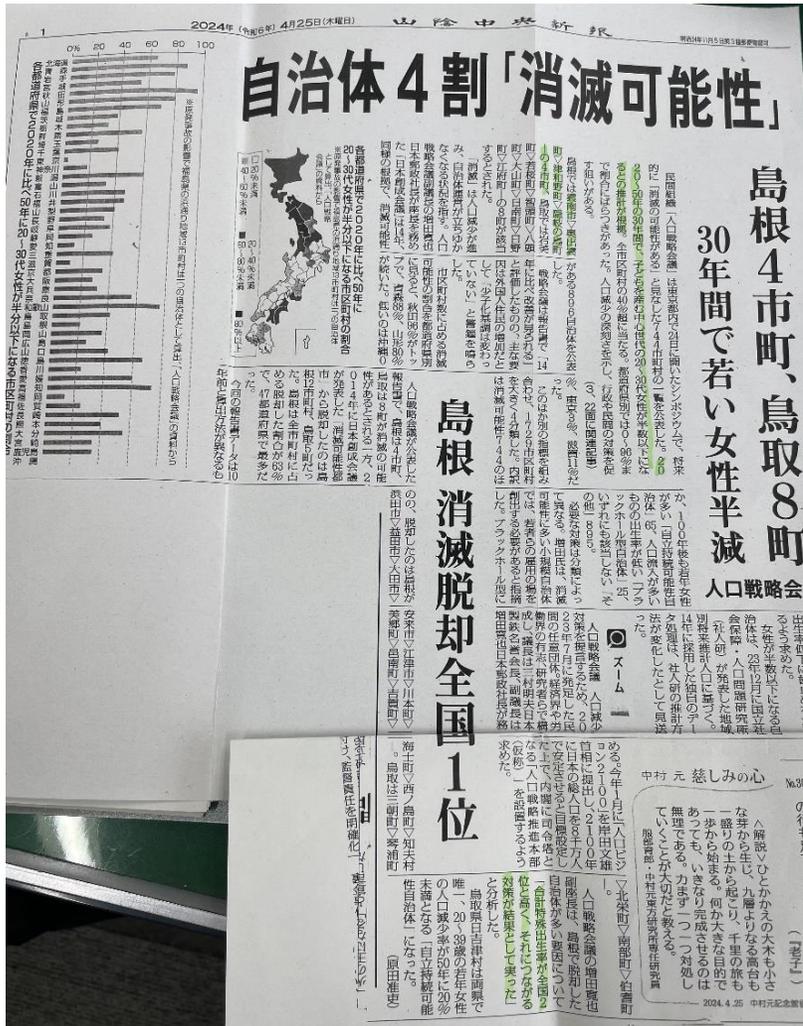
# 益田市の人口推移



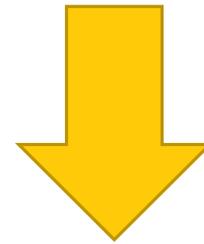
# 全国の人口推計

2024.4.25

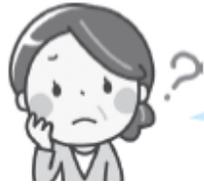
山陰中央新報朝刊より



## 14年連続で前年より人口減



## 人口減少は日本全体で



市の対策はどうなってるの？

## (1) 益田市総合戦略

「益田市人口拡大計画」を基礎に置き、これをさらに発展させ、次の4項目を基本目標に設定した「益田市総合戦略」を平成27年10月に策定しています。

- ①定住の基盤となるしごとをつくる ②結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ③益田に回帰・流入・定着するひとのながれをつくる ④地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる

## (2) 益田市ひとづくり協働構想

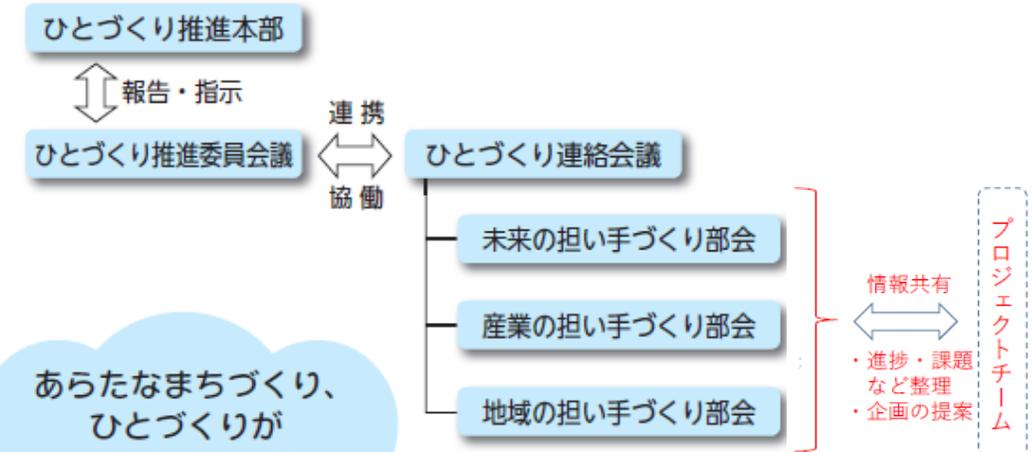
「ひとづくり」によって今後の益田市の活路を開くという信念のもと、「ひとが育つまち益田」の実現を目指し、平成28年3月に「益田市ひとづくり協働構想」を策定しました。

### ●目指す人のすがた

- ①将来の益田市を支えるため、自らの可能性を広げることのできるひと。
- ②しごとを継続発展させるひと。しごとを創り出せるひと。
- ③地域のひとと協力し、地域を支えるひと。地域の資源を活かせるひと。

このような「ひとづくり」を目指しています。

### 【推進体制のイメージ】



あらたなまちづくり、ひとづくりがはじまるのね!!

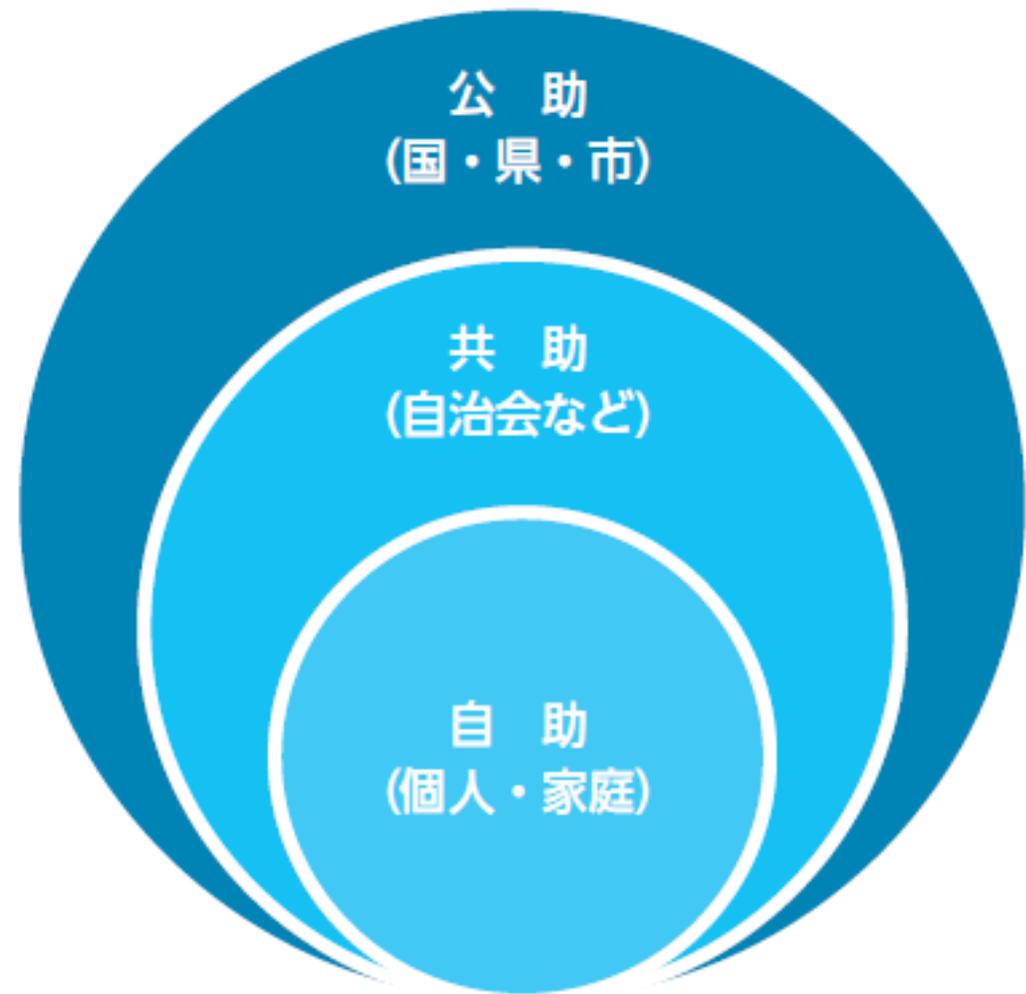




地域づくりの役割は  
どうなっているの？

地域づくりの基本的な考え方として、「補完性の原理」というものがあります。これは、個人や家庭が抱える問題は個人や家庭で解決するという「自助」。もしそれが不可能であればご近所や自治会等で解決するという「共助」。共助でも難しいようであれば、基礎自治体の市町村、そして広域行政の都道府県、それでも難しければ最後は国が解決するという「公助」という具合に、なるべく身近なところで解決するという考え方です。

現在市では、市内20地区ごとに、「共助」の基盤となる「地域自治組織」の設立を奨励し、多様な支援を行なっています。

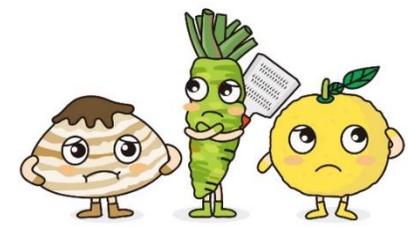


「補完性の原理」のイメージ

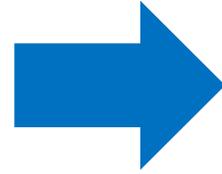
# 地域自治組織（地域運営組織）について

---

# これからの地域づくり



- ・急激な人口減少
- ・少子高齢化



- ・コミュニティ機能の低下
- ・コミュニティの消滅

**持続可能な地域づくりが必要！**

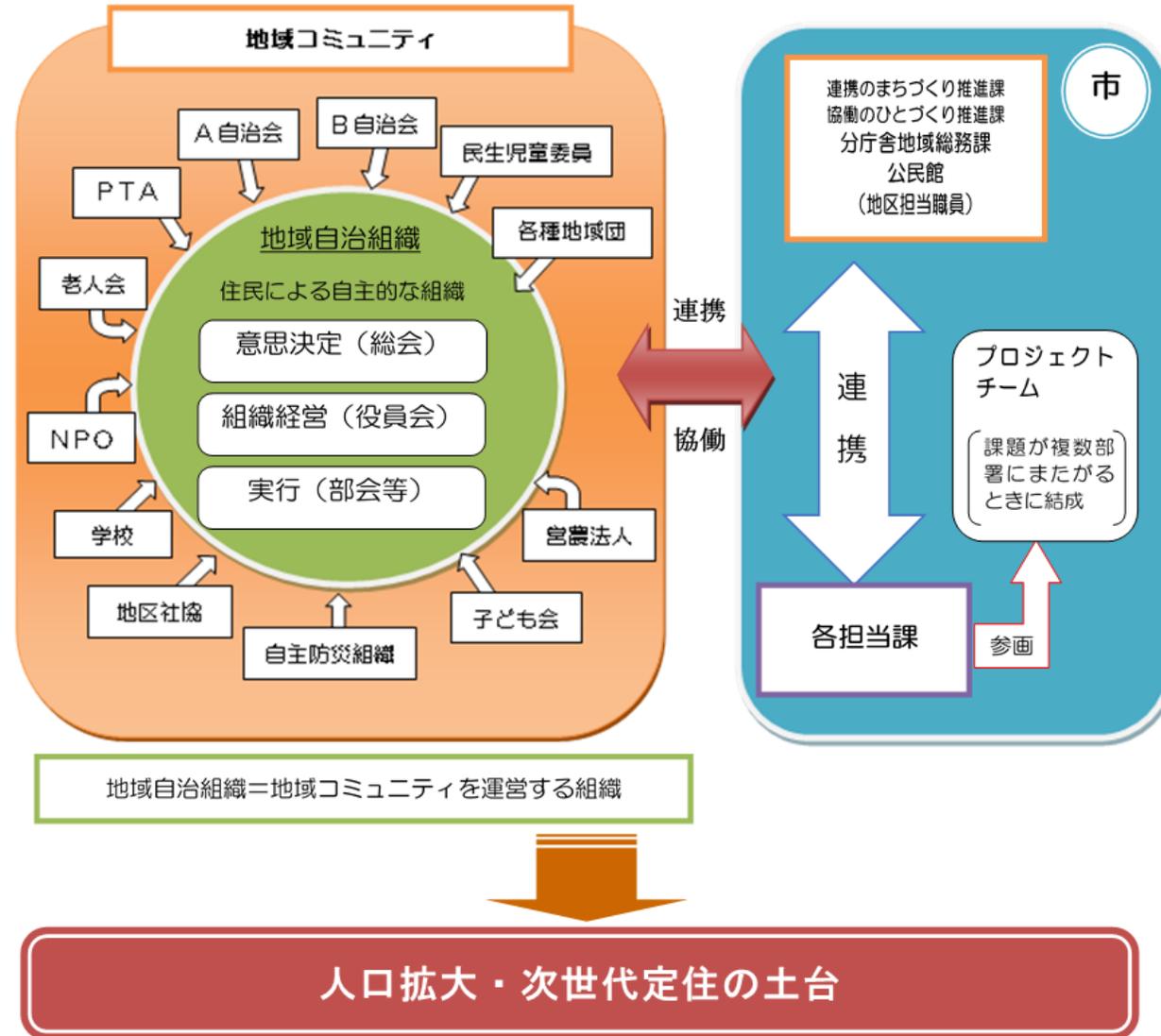
そのために、

住民一人ひとりが自ら住む地域を良くしようと考え、参加し、支え合う仕組み

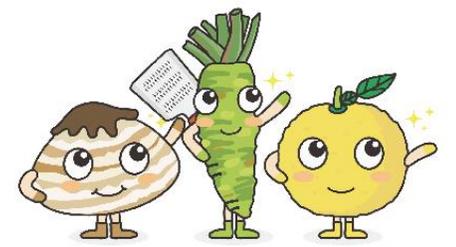


**地域自治組織の設立を奨励！**

# 地域自治のこれから（イメージ図）

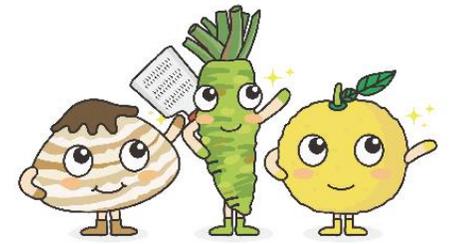


# 地域自治組織とは



- ・地域住民一人一人が**主体的に**取り組む地域づくりの形。
- ・**世代、性別、立場を超えて**話し合いや決めごとを行うことができる組織
- ・**目標に向かって一丸となって**取組を進めることができる組織

# 地域自治組織の役割



- ・地域で活動する様々な人材・団体の連絡・相互協力・連携・組織化の**調整役**。
- ・基礎的なコミュニティ組織の**自治会等の規模では実施困難で、かつ全市的に取り組むには非効率な課題に取り組む**。
- ・地域のニーズを把握し、地区の課題を見出す。  
⇒**地域の特性に応じた地域住民へのサービスの提供を担う**。

# 地域自治組織の3本柱

## ①まちづくりプラン

- ・地区の**目指す姿(目標)**を記したものの。

## ②活動計画

- ・まちづくりプランを達成するための取組をまとめたもの。

## ③規約

- ・運営方法等を定めているもの。

もちろん年度ごとに  
計画と予算も作成し  
ているよ！



# 地域自治組織の運営について

## ①総会

- ・年に1回

## ②役員会

- ・実施回数は組織によって異なる。
- ・毎月実施している組織もある。

## ③部会・委員会

- ・各組織2～4つの部会や委員会がある。



# 市の支援

## ①ヒトの支援

公民館に人員を配置すると共に、地域住民による組織化や、地域が抱える課題の発見、整理、情報共有など地域自治組織の取組を推進する地域で、かつ希望される地域において、地域魅力化応援隊員を配置しています。現在は15名の地域魅力化応援隊員を配置し、各組織のみなさんと共に活動しています。

地域魅力化応援隊員は市が雇用していますが、令和2年度より地域が雇用する地域マネージャー制度も導入し、5地区で雇用が始まっています。

## ②モノ(拠点)の支援

地域住民の主体的で特色ある地域づくり活動を支援し、地域住民と行政との協働による地域づくりの推進と、住民自治の確立を図る拠点として市内20地区に公民館を設置し、地域活動の拠点として活用いただいています。

## ③オカネの支援

地域自治組織には、まちづくりプランを実行する運営費の支援として「**まちづくり活動交付金(60～80万円)**」を交付すると共に、新規事業の立上げ等の支援として「**まちづくり活動特別補助金(上限100万円)**」の活用が可能となっています。



地域魅力化応援隊員  
連絡調整会議



まちづくりプラン



\*鳥獣対策用暗視  
カメラの設置



\*交流拠点へのかまどの設置

# ヒトの支援について(集落支援員の配置)

## ①地域魅力化応援隊員・・・15地区

- ・雇用主:市 会計年度任用職員として公募し、採用(面接・作文試験)
- ・希望する地区に配置。(業務報告書有り)
- ・公募のため、**地域が求める人材を配置できるとは限らない。**

## ②地域マネージャー・・・5地区

- ・雇用主:地域自治組織 (実績報告書有り)
- ・希望する地区へ交付金として500万円交付  
(財源:地域振興基金と一般財源)
- ・就業規則等を地域が定めるので、**地域が求める人材を確保しやすい。**



# 市内の各地区について



市内の各地区の様子は  
どうなっているの？

令和7年3月現在、市内全20地区で市の認定を受けた地域自治組織が結成されています。この間、住民同士の話し合い、地区民に対するアンケートや意見交換等多くの地域住民の声をとりまとめ、相互理解を深めながら、組織を結成されました。平成26年8月の「二条里づくりの会」の設立を皮切りに、平成28年度には道川、真砂、匹見下、安田、小野地区の5団体、平成29年度には二川、美濃、豊川地区の3団体、平成30年度には東仙道、北仙道地区の2団体、令和元年度には西益田、種、益田、匹見上、鎌手、都茂地区の6団体、令和2年度には吉田、高津、中西地区で設立され、計20団体となっており、地域住民の想いを形にした「まちづくりプラン」に沿った事業が始まっています。



竹チップ生産事業  
(二条地区)



tele-glue運営  
(真砂地区)



地元産を使った体験事業  
(二川地区)



買い物ツアー  
(種地区)

# 集落支援員の取組

---

# 紹介団体

---

①北仙道の明日をつくる会

②匹見下いいの里づくり協議会

# ①北仙道の明日をつくる会

---

北仙道地区

# (1) 北仙道の明日をつくる会

## 【設立年月】

平成30年7月

## 【人口数・高齢率(令和6年12月末)】

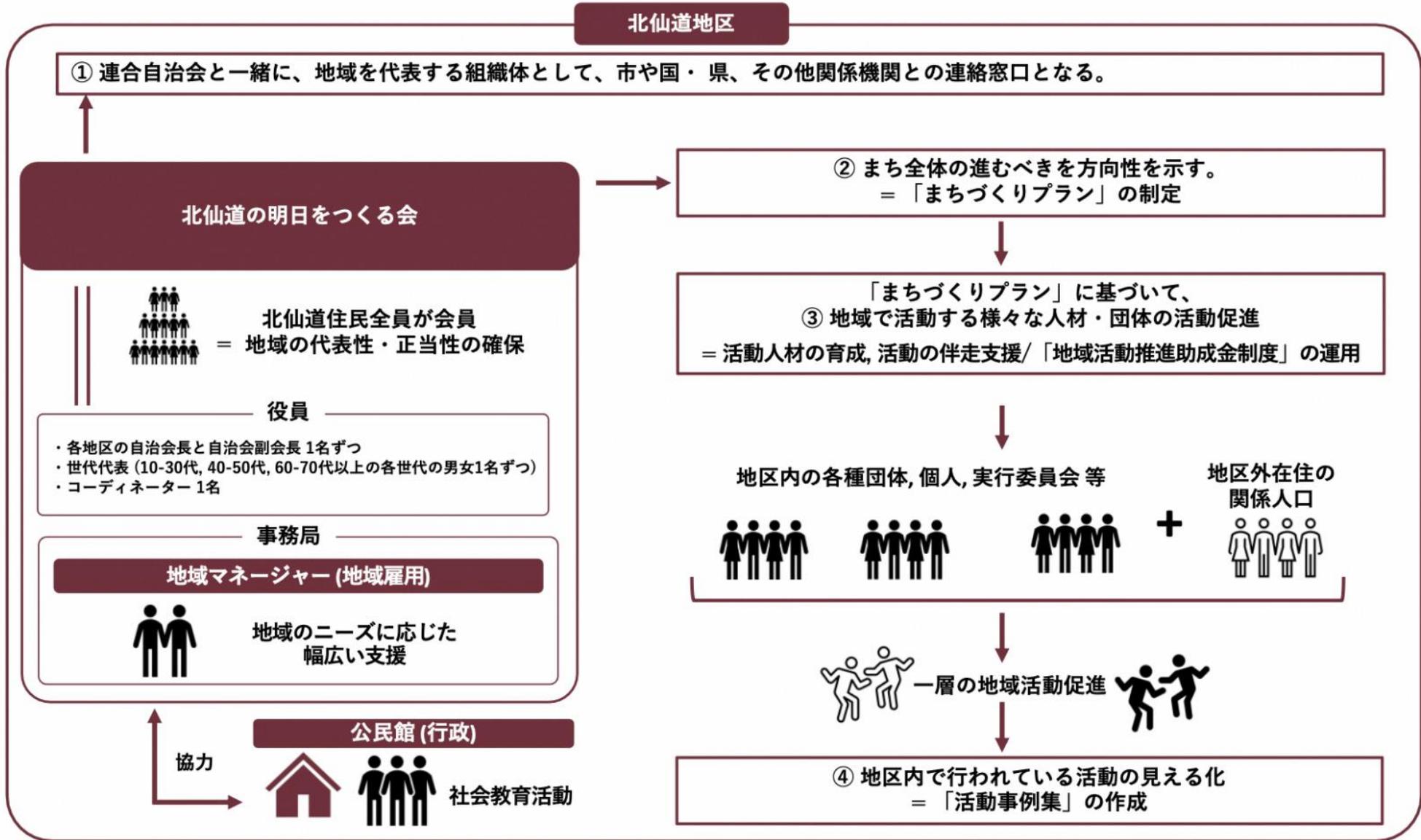
370人 / 53.8%

## 【地域づくりのテーマ】



- ・みんなが参加する、“ひとづくり”を通した“ワクワク感”を大切にしたい、まちづくり

# 【団体の組織図】



## 役員会(2か月に1回程度開催)

役員には30代～60代までが幅広く加わり、地区内で活動している団体の支援事業報告や、現状や困りごとを共有したり、今後の地区の方向性などについて話し合っています。



# ★きんさい市実行委員会★

## 【目的】

農産物の生産や商品製造、販売の場を通して北仙道の人々の生きがいづくりに寄与する。

## きんさい市

今年度3回の産直市を実施しました。地区内の出店はもちろん、地区外からの出店もあり、地区内外の方同士が触れ合える交流の場にもなっていました。7月には東陽中学校の1年生が手伝いに来てくれて盛り上げてくれました。



## ★北仙道活力隊★

### 草刈り活動

北仙道地区内外で、草刈りなどの依頼を受け、活動をしています。依頼する人も固定化し、安定した活動になっています。



## ★北仙道子ども会★

### 北仙道キャンプ2024秋

地域の子ども、親子を対象とした1泊2日のキャンプ！大正大学の学生さんの参加もあり、旧校舎を使ってお化け屋敷を企画してくれました。子ども達も大人も若い学生さんと触れ合い良い刺激をもらいました。



# ② 匹見下いいの里づくり協議会

---

匹見下地区

# (1) 匹見下いいの里づくり協議会

## 【設立年月】

平成28年4月

## 【人口数・高齢率(令和6年12月末)】

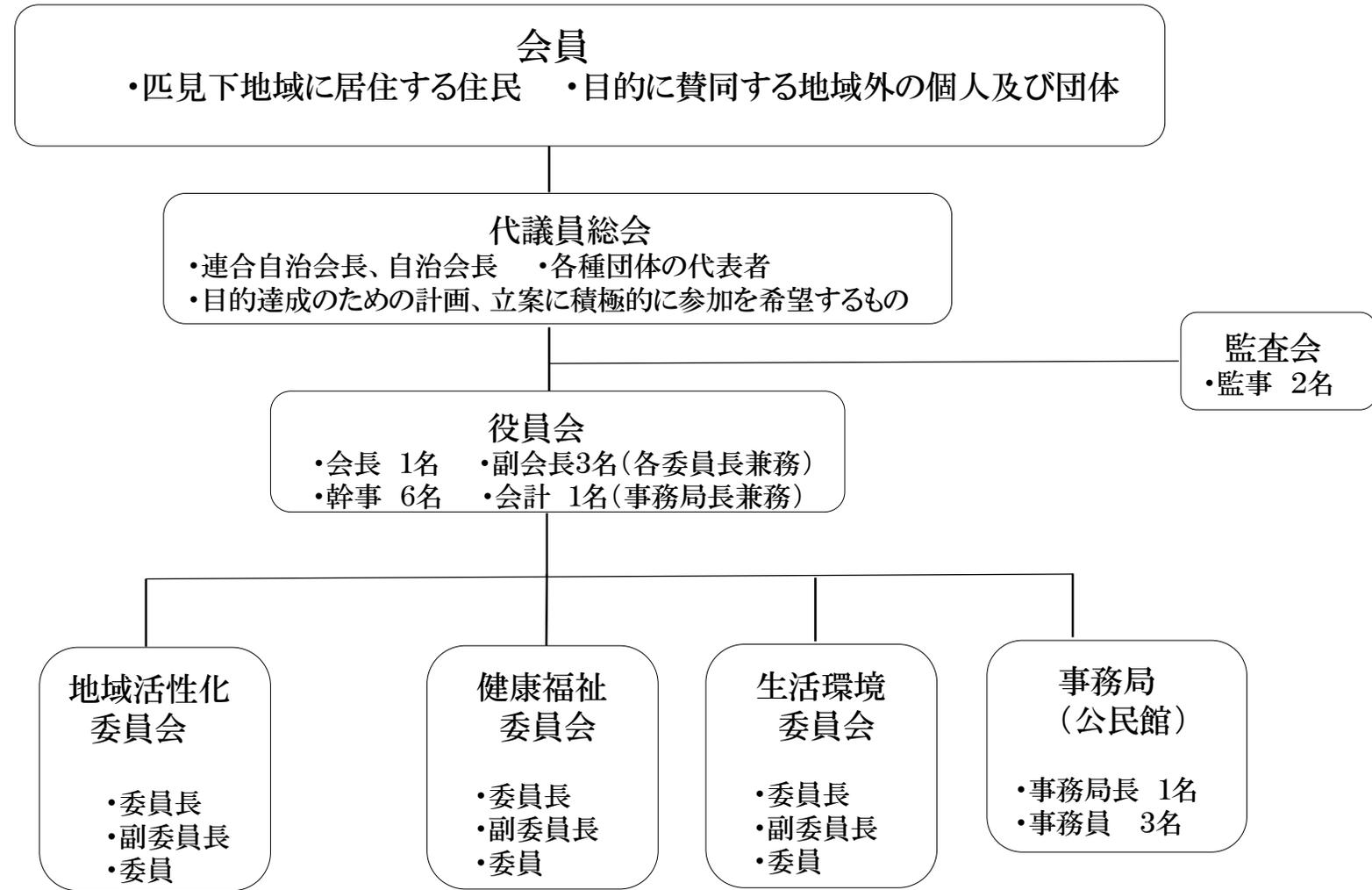
204人 / 70.1%

## 【地域づくりのテーマ】

ささえ愛、笑顔がつくるいいの里



# (2) 活動体制



# (3)それぞれの取組

## ○生活環境委員会

→住民アンケート(2022.4実施)

買い物・弁当の宅配のニーズ調査

	世帯用アンケート			個人用アンケート		
	世帯数	回答数	回答率	対象者数	回答数	回答率
全体	102	74	73%	190	132	69%
広瀬	21	19	90%	44	31	70%
澄川	63	43	68%	118	77	65%
石谷	18	12	67%	28	21	75%
地域不明		0			3	

2024.5.22  
山陰中央新報朝刊

益田市匹見下地区の買い物困難者を支援しようと、地域自治組織・匹見下いいの里づくり協議会(生協)が協力し、商品を届ける取り組みが21日始まった。公民館を中継地とし、住民ボランティアが高齢者の見守りを兼ねて無償で宅配する。沿いに限られていた。

匹見下地区は145世帯、201人が住み、高齢化率は72・1%に上る。生協は配送時間の都合など、地区内の配送は国道48号沿いに限られていた。

新たな仕組みは、生協が週1回、匹見下公民館(益田市匹見町澄川)まで配達。

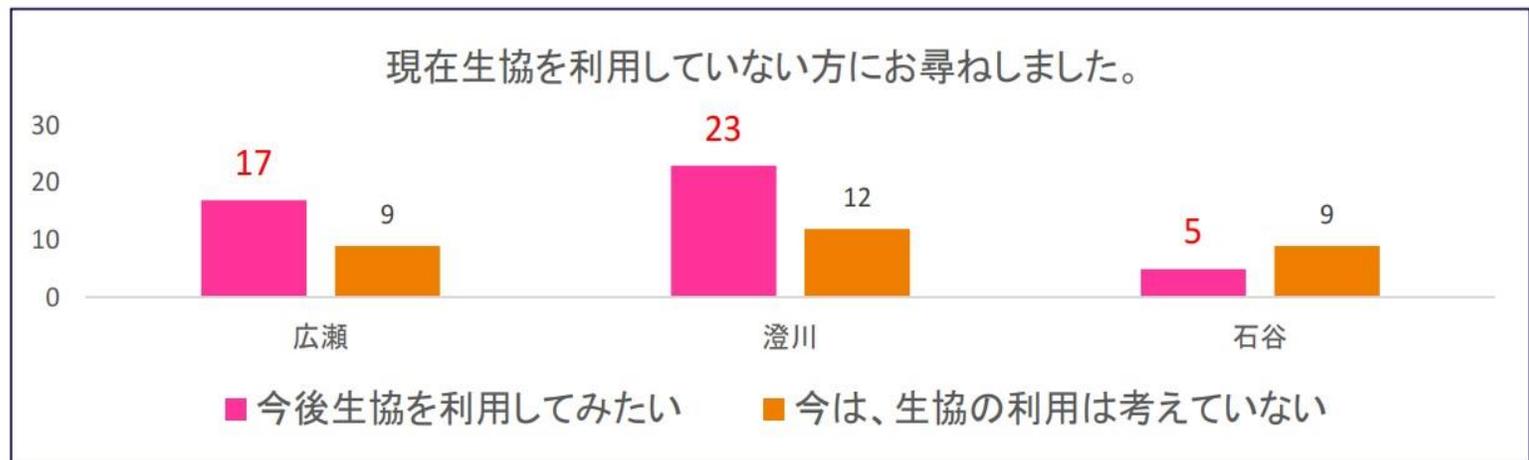
公民館で仕分けし、住民ボランティアが自家用車で宅配する。公民館から利用者宅までの配送手数料は無料。協議会が住民ボランティア(4人)に燃料代を支給する。

初日は新規加入した6世帯に商品を届けた。このうち匹見町石谷の村上登美子さん(90)は「一人暮らしで、買い物は市内に住む長男に任せていたという。卵や牛乳などを購入し、息子の負担が減り、地域の人に見守ってもらえて安心できる」と喜んだ。

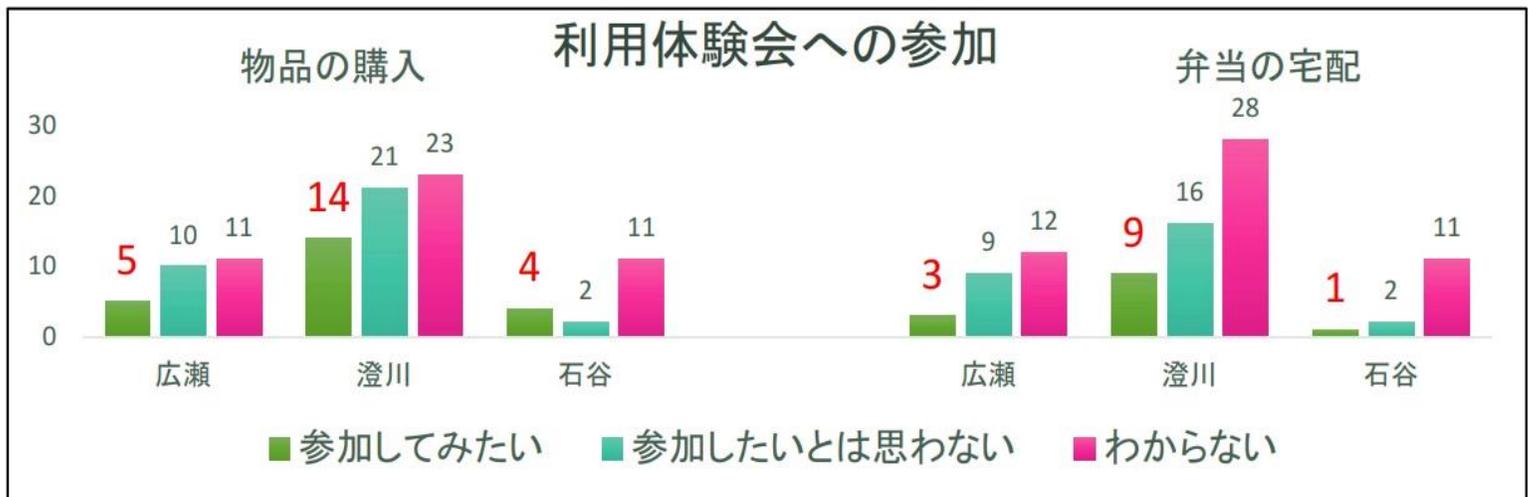
匹見下公民館であった出発式で、協議会の寺戸倉雄会長(72)は「買い物不便者はまだ増える。意見を出し合い運営していきたい」とあいさつ。7万2千人の組合員がいる生協しまねの小林健吾専務理事は「モデルケースにしたい」と話した。

(吉田雅史)

# 地域自治組織の生活環境委員会 住民アンケート

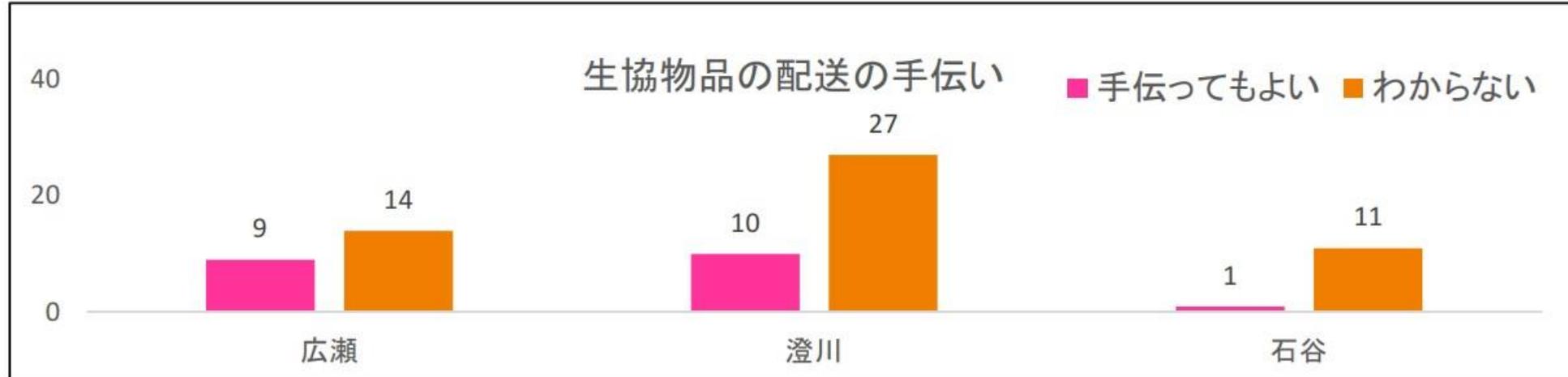


生協を利用していない人の中で  
45人(広瀬17人、澄川23人  
石谷5人)の人が  
「今後生協を利用してみたい」と  
答えました。



生協利用体験会を実施した場合  
①「物品の購入」では23人  
(広瀬5人、澄川14人、石谷4人)  
②「弁当の宅配」では13人  
(広瀬3人、澄川9人、石谷1人)  
が参加してみたいと答えました。

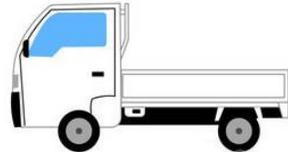
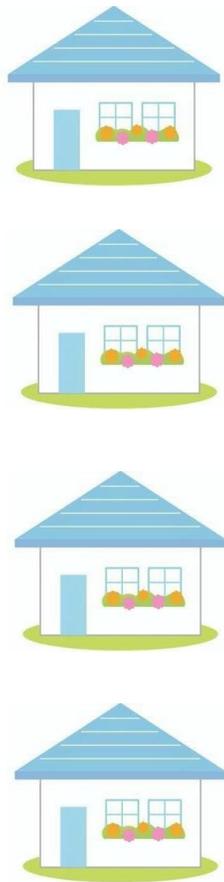
# 地域自治組織の生活環境委員会 住民アンケート



**生協物品の配送の手伝い(ボランティア)については  
20人(広瀬9人、澄川10人、石谷1人)の方が  
「手伝ってもよい」とお答えになりました。**

# 今回の取組イメージ

毎週火曜日 午前11時ごろ

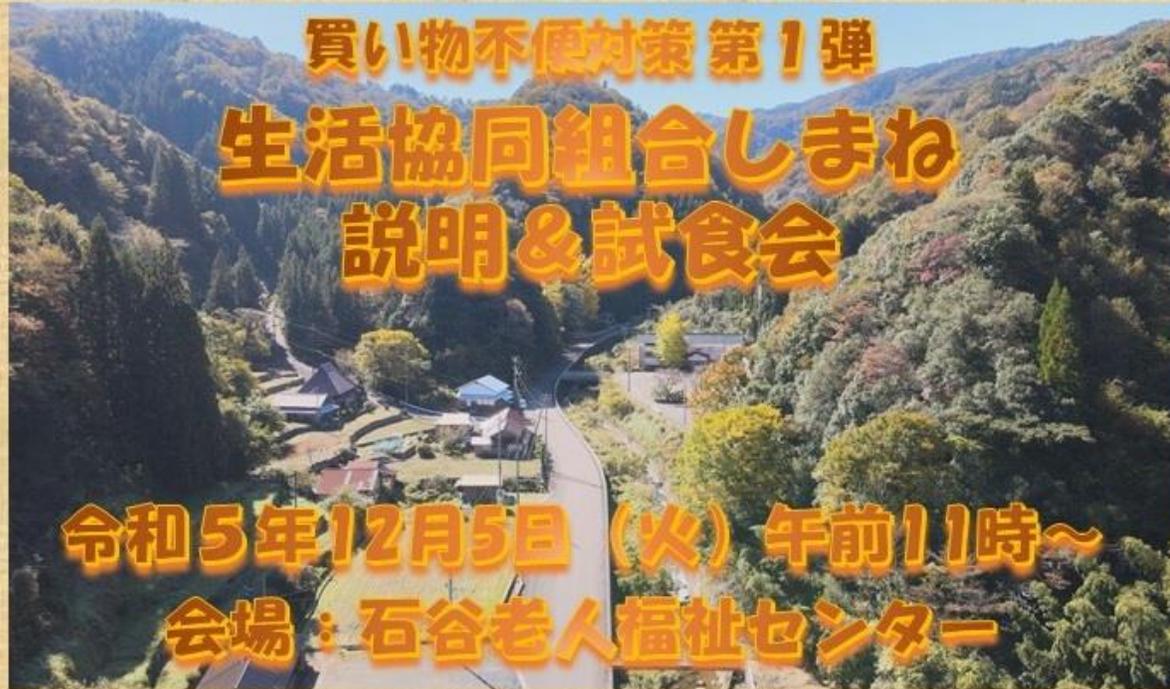


生協が公民館まで配送

- ・見守り活動の一環として  
個人宅へ配送
- ・個人配送手数料無料
- ・スタッフは住民ボランティア
- ・車両 維持費は自前
- ・配送実費として距離に応じた  
燃料代を支給(地域自治組織予算)

配送手数料  
保管料は  
受け取らない

# 地域自治組織・生協しまねで検討を重ね説明 & 試食会を開催



**買い物不便対策 第1弾**  
**生活協同組合しまね**  
**説明 & 試食会**

**令和5年12月5日(火) 午前11時～**  
**会場：石谷老人福祉センター**

**いきいき百歳体操の前に実施！**



どんな商品があるの？  
どうやって注文するの？  
…などなど疑問にお答え！

どんな弁当なのか  
食べてみよう！  
…値段や内容など疑問に  
お答え！

共催：匹見下いいの里づくり協議会  
生活環境委員会  
生活協同組合しまね

物品販売に合わせて、宅配夕食弁当の試食会を行った

参加者 石谷地区 17世帯のうち 10世帯  
25人のうち 11人

# 地域づくり担当者会議

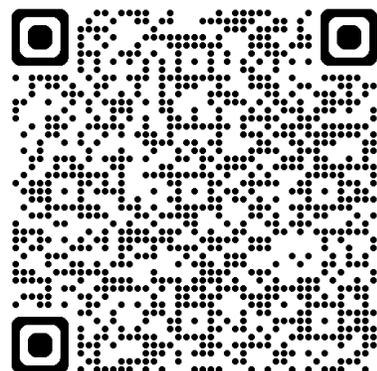
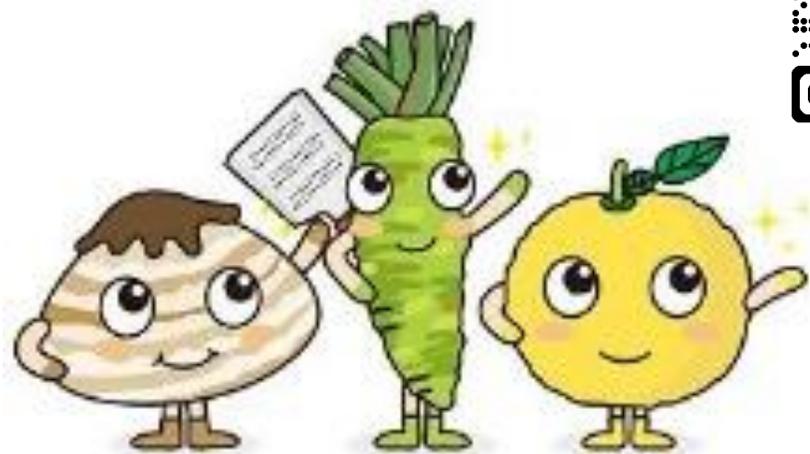
- ・開催 毎月1回
- ・参加者 地域魅力化応援隊員、地域マネージャー、  
県・市職員、ユタラボ(中間支援組織)等
- ・内容 情報共有、ワーク、視察、研修等
- ・目的 スキルアップ、企画力の養成、  
横断的な情報交換。他地区との連携へもつなげる。



# 地域づくり担当者会議の様子



# 20地区の取組状況については 市のウェブサイトで公表しています！ 地区ごとに作成しています！



令和5年度  
地域魅力化応援隊員業務報告書  
〈総括表〉

地域魅力化応援隊員が  
魅力ある地域づくりを応援します。



益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

令和5年度  
益田市 20地区取組状況

20地区の取組を  
まるごと紹介！

益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

# ご静聴ありがとうございました。

萩・石見空港オリジナルキャラクター  
トビーくん



ますだ暮らしキャラクター

